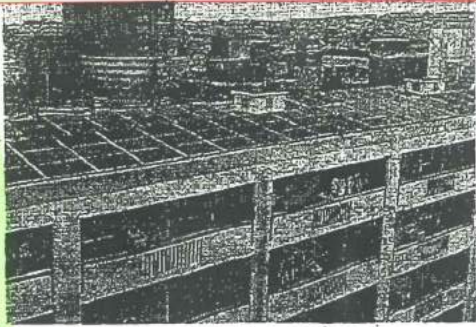


# 太陽光発電に参入

## 食品卸のタカタ 来年7カ所で稼働

食品卸のタカタ(沖縄)は太陽光発電事業に参入。県浦添市、高田稔社長「する。2013年に沖縄



マンションの屋上などを利用して発電パネルを設置(那覇市)

県内の7カ所で太陽光発電施設を稼働させる。発電能力は計1210キロワット。再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を利用し、全量を沖縄

電力に売電する。来年2月末までに、グループで保有する那覇市

内のマンション4カ所とボウリング場1カ所、浦添市にあるグループ会社の社屋2カ所のそれぞれに太陽光発電パネルを設置する。2月から順次稼働させる計画。3月までに沖縄電力と売電契約を結ぶ予定だ。

中国の天合光能(トリナソーラー)製のパネルを採用。設置費用は約4億5千万円で、地元金融機関の融資などで調達する。タカタの予測では、年間発電量は約130万キロワット時、売電金額は520

0万円程度となる見込み。8~10年で投資資金を回収できるとみている。同社は食品雑貨卸が主力。書籍販売なども手掛

け、12年3月期の売上高は約125億円。